四

最近、「小中学生が携帯電を持つことを法律で禁止しよう」という意見が出されている。これに対してあなたはどう思うか。次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は三段落構成とする。最初の段落には、その意見に賛成か反対かとその理由を書くこと。

注二　二番目の段落は、「確かに」で始めて、あなたとは異なる意見の理由として考えられることを書くこと。三段落目は「しかし」で始めて、この課題に対するあなたの意見をまとめること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

四

電車やバスには「優先席」が設けられている。このことについてクラスで話し合ったところ、左記のA、B二つの意見があった。あなたはこのA、B二つのうちどちらの意見に賛成か。どちらかの意見を選び、次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、あなたが賛成する意見の記号と、それを選んだ理由を書くこと。

注二　第二段落には、第一段落とは異なるもう一方の意見のよさを書くこと。、書き出しは「確かに」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

A　必要だと思う。お年寄りや体の不自由な方がいつでも座ることができるようにしておくことは大事だと思うから、ルールとして決めた方がいい。

B　必要ないと思う。お年寄りや体の不自由な方をに席を譲ることはルールで決めるのではなく、誰もが進んで行うようになった方がいいと思うから。

四

私たちは、たとえば、「調べるために読む」、「考えを深めるために読む」といったさまざまな読書をする。一方、「漫画を読むことも読書である」という意見がある。これに対してあなたはどう思うか。次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は三段落構成とする。最初の段落には、「漫画を読むことも読書である」に対するあなたの考えを書くこと。

注二　二番目の段落は、「確かに」で始めて、あなたの考えとは異なる意見として考えられることを書くこと。三段落目は「しかし」で始めて、この課題に対するあなたの意見をまとめること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

四

修学旅行の観光地巡りで、見学コースについて、「観光案内どおりのコースを使う」、「自分たちが作ったコースを使う」の二案が出た。どちらかの案を選び、次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、あなたが選んだ案と、それを選んだ理由を書くこと。

注二　第二段落には、第一段落とは異なるもう一方の案のよさを書くこと。書き出しは「確かに」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

四

言葉づかいで何に気をつけるかというアンケートで、左記のA、B二つの意見が多かった。あなたはこのA、B二つのうちどちらにより気をつけたいと思うか。どちらかの意見を選び、次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

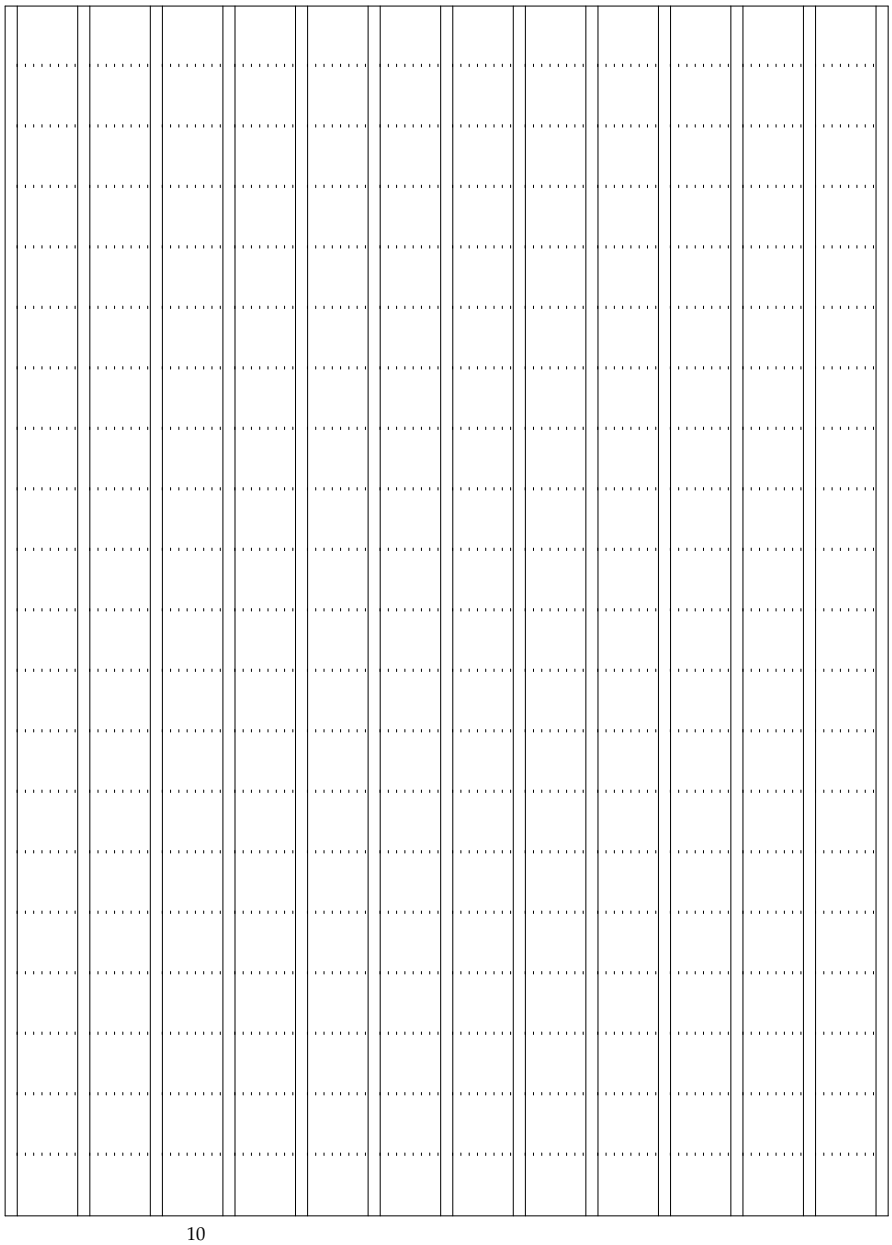
注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、あなたが選んだ意見の記号と、それを選んだ理由を書くこと。

注二　第二段落には、第一段落とは異なるもう一方の案のよさを書くこと。書き出しは「確かに」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

A　「相手や場面にふさわしい言葉づかいに気をつける」

B　「自分らしさを表現できるような言葉づかいに気をつける」



四

「都会には都会のよさがあり、田舎には田舎のよさがある」と言われる。あなたは、自分の住む場所として選ぶとすれば、都会と田舎とどちらを選ぶか。どちらかを選び、次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、あなたが選んだ方と、それを選んだ理由を書くこと。

注二　第二段落には、第一段落とは異なるもう一方の案のよさを書くこと。書き出しは「確かに」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

四

「外来語を使うこと」をテーマに、クラスで討論会をしたところ、次のAさん、Bさんのような意見が出された。二人の意見を踏まえたうえで、あなた自身の意見を次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、あなたはどちらの意見に賛成かと、その理由を書くこと。

注二　第二段落には、もう一つの意見のよさを書くこと。書き出しは「確かに」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

Aさん　私は、外来語を使うことはできるだけ少なくした方がいいと思います。誰もが外来語を理解できるとは限らないからです。

Bさん　私は、積極的に外来語を使っていきたいと思います。テレビでも雑誌でもたくさん使われているし、国際化の時代には必要だと思うからです。

四

最近、ゴミ箱を置いていない公共の場所が増えてきた。あなたは、この公共の場所にゴミ箱を置かないことについて賛成か反対か。次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、賛成か反対かとその理由を書くこと。

注二　第二段落には、あなたの意見とは異なる意見で予想される反論を書くこと。書き出しは「確かに」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

四

「合唱コンクールの曲目」について、クラスで討論会をしたところ、予定の時間になっても意見が分かれたまま結論が出なかった。この場合、あなたは「話し合いを続ける」のか、それとも「ここで多数決によって決める」のか、どちらの立場をとるか。次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、あなたはどちらの立場をとるかと、その理由を書くこと。

注二　第二段落には、もう一つの方法の良い点を書くこと。書き出しは「確かに」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

四

左記のア～エのうち、あなたが今後、取り組んでみたいと思う活動を二つ選び、その二つを比較しながら、自分の考えを次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、あなたが選んだ最も取り組みたいものの記号と、その理由を書くこと。

注二　第二段落には、あなたが選んだ残りの一つについて書くこと。書き出しは「一方」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

ア　福祉にかかわる活動。

イ　文化にかかわる活動。

ウ　国際化にかかわる活動。

エ　情報化にかかわる活動。

四

学校における制服について話し合ったところ、「制服はあった方がいい」という意見と「制服はないほうがいい」という意見に分かれた。これに対してあなたはどう思うか。次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は三段落構成とする。最初の段落には、どちらの意見に賛成かとその理由を書くこと。

注二　二番目の段落は、「確かに」で始めて、もう一方の意見の理由として考えられることを書くこと。三段落目は「しかし」で始めて、この課題に対するあなたの意見をまとめること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

四

国語の時間に、「文学作品を楽しむ」というテーマで話し合った。その中で「小説の中には、映画化された作品もある」ということが話題になった。そのことについて、次のような意見が出されたが、あなたはA、Bのどちらの意見に賛成か。どちらかの意見を選び、次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

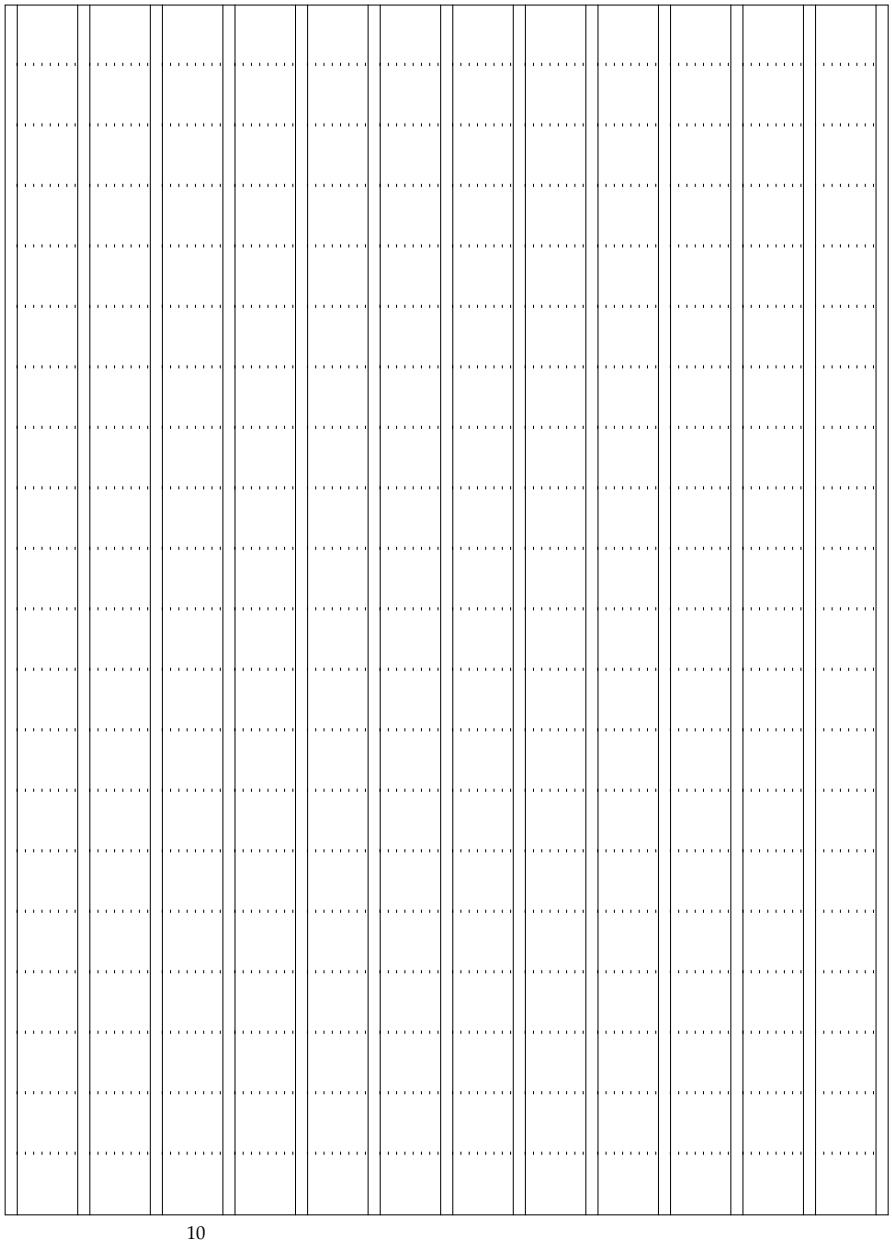
注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、あなたが選んだ意見の記号と、それを選んだ理由を書くこと。

注二　第二段落には、第一段落とは異なるもう一方の案のよさを書くこと。書き出しは「確かに」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

A　「小説は、映画で見るより本を読むほうがよい。」

B　「小説は、本で読むより映画で見る方がよい。」



四

「大人になること」をテーマに、クラスで討論会をしたところ、次のＡさん、Ｂさんのような意見が出された。二人の意見を踏まえたうえで、あなた自身の意見を次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、あなたはどちらの意見に賛成かと、その理由を書くこと。

注二　第二段落には、もう一つの意見のよさを書くこと。書き出しは「確かに」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

Ａさん　私は、早く大人になりたいと思います。人の手を借りずに何でも自分の力でやってみたいし、やりたいことがいっぱいあります。

Ｂさん　私は、できることなら子どものままでいたいと思います。純粋な心を失わないで生きていくには、大人の世界は適さないと思うからです。

四

クラスで、「身近な人から学ぶ」というテーマについて、左記のA、B二つのことが話題になり、それぞれのよさが話し合われた。A、Bのうちどちらかを選び、そのことについてのあなたの体験と、あなたの考えや意見を、次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

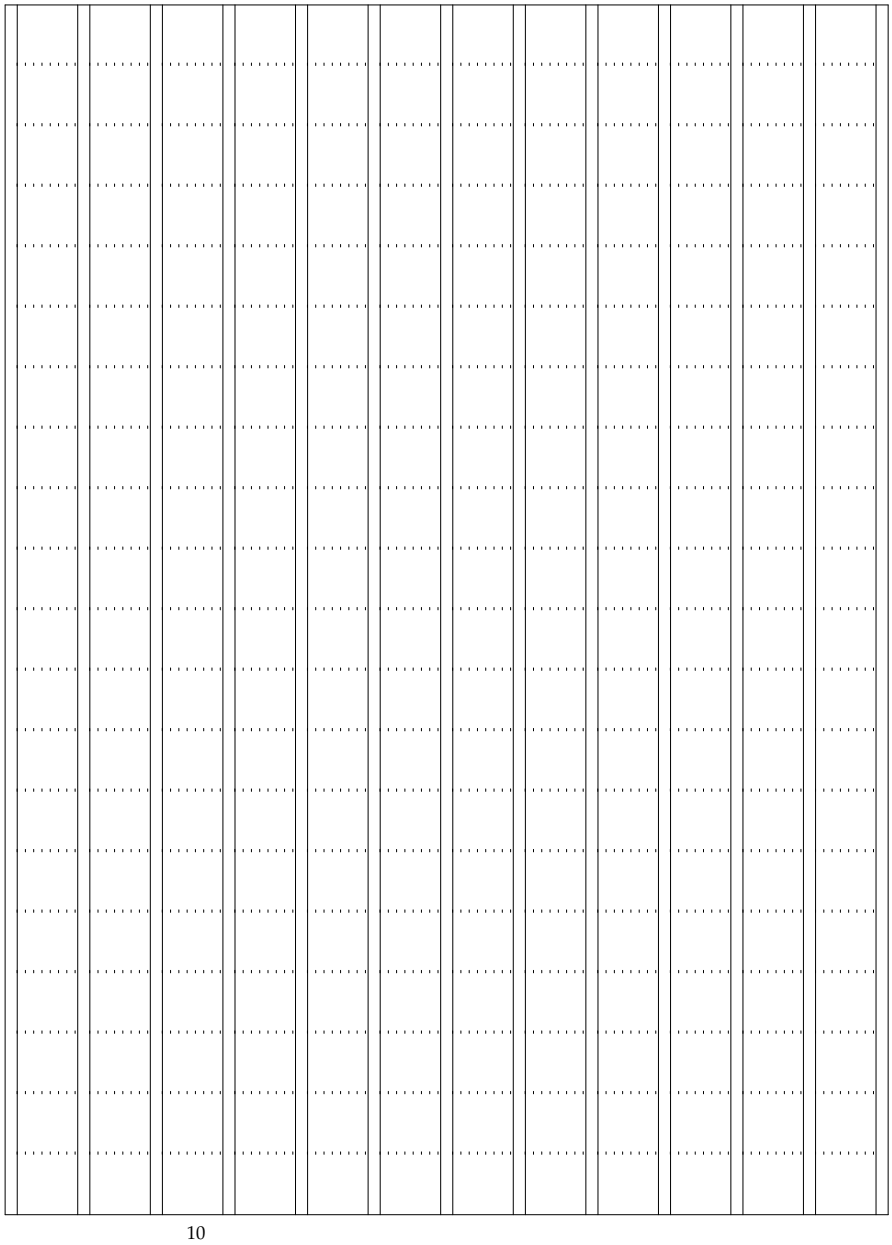
注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、A、Bいずれを選んだかと、それを選んだ理由を体験をまじえて書くこと。

注二　第二段落には、第一段落とは異なるもう一方のテーマのよさを書くこと。書き出しは「確かに」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

A　地域の人や家族など、自分と異なる世代の人から学ぶ。

B　クラスの友人など、自分と同じ世代の人から学ぶ。



四

地球環境の変化が大きな問題となっている。そこで、「自然の不思議さ」か「自然の豊かさ」のいずれかをテーマに話し合うことになった。あなたなら、どちらのテーマを選ぶか。どちらかを選び、次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、あなたが選んだテーマと、それを選んだ理由を書くこと。

注二　第二段落には、第一段落とは異なるもう一方のテーマのよさを書くこと。書き出しは「確かに」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。

四

クラスで、現在若者に求められているものについて話し合ったところ、「豊かな心」と「広い視野」という意見が多かった。あなたはこの二つのうちどちらがより必要だと思うか。どちらかの意見を選び、次の【注意】にしたがい作文せよ。

【注意】

注一　文章は、三段落構成とする。第一段落には、あなたが選んだ意見と、それを選んだ理由を書くこと。

注二　第二段落には、第一段落とは異なるもう一方の案のよさを書くこと。書き出しは「確かに」とすること。第三段落には、第一、第二の段落の内容を踏まえて、あなたの考えを書くこと。書き出しは「しかし」とすること。

注三　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方にしたがい、十行以上、十二行以内で書くこと。ただし、文の数は問わない。